

令和8年度 農林部 第1期中期戦略体系別 対象事業一覧

| 目指す都市像 | 基本戦略 | 戦略分野・施策 | 中期戦略に紐づく事務事業 (重点化する事務事業) | 担当課 |
|--|---------------------|--|-----------------------------|-----|
| 多彩な暮らし、 田園都市しおじりー 叶えるまち。 | A 未来共育 | 戦略分野1 パートナーシップ・子育て | | |
| | | 戦略分野2 学校教育・学びの環境 | | |
| | | 戦略分野3 伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習 | | |
| | B 共創循環 | 戦略分野4 地域経済・産業・観光・就労 施策4-2 生産・経営基盤に見通しを立てて農業に取り組める | 園芸産地基盤強化等促進事業 | 農政課 |
| | | | ぶどうの郷づくり等推進事業 | 農政課 |
| | | 農業経営体育成支援事業 | 農政課 | |
| | | 有害鳥獣駆除対策事業 | 耕地林務課 | |
| | | 土地改良事業(ハード事業) | 耕地林務課 | |
| | | ため池耐震化事業 | 耕地林務課 | |
| | | 国営県営農業農村基盤整備事業負担金事業 | 耕地林務課 | |
| 施策4-6 塩尻ワイン、木曾漆器などの特徴や魅力の共通認識ができている | 地籍調査事業 | 耕地林務課 | | |
| 農業再生推進事業 | 農政課 | | | |
| 戦略分野5 環境・気候 5-1 農地や農村環境の維持に関わる人が確保される | 中山間地域等直接支払事業 | 農政課 | | |
| | 農作物自給率向上事業 | 農政課 | | |
| | 農業公社運営事業 | 農政課 | | |
| | 土地改良事業(多面的機能支払交付金) | 耕地林務課 | | |
| | 農地流動化促進事業 | 農業委員会 | | |
| 5-2 森林整備と管理が進み、緑の景観や自然公園が維持されている | 林業被害対策事業 | 耕地林務課 | | |
| | 治山林道事業 | 耕地林務課 | | |
| | 森林再生林業振興事業 | 耕地林務課 | | |
| 5-3 脱炭素社会を実現する必要性が共有され、 再生可能エネルギーの導入が広がり、研究が始まる | 森林活用推進事業 | 耕地林務課 | | |
| | 木質バイオマス地域循環システム形成事業 | 耕地林務課 | | |
| 戦略分野6 協働参画・連携・行政運営 | | | | |
| C 安心共生 | 戦略分野7 地域社会・支え合い | | | |
| | 戦略分野8 医療・介護・保健・福祉 | | | |
| | 戦略分野9 まちづくり・インフラ・防災 | | | |

部重点方針

方針1 多様な人の関わりによる農地や農村環境の維持

- 塩尻ワイン大学等による多様な担い手の確保・育成
- 農業委員会や産地保全支援員等との連携による農地集約化の推進
- 営農型太陽光発電普及の可能性研究

方針2 持続可能な農業経営に向けての支援

- 地域資源の循環利用拡大と物価高騰への支援
- 市農業公社による農地の荒廃化の防止及び担い手への農地継承の促進
- 地籍調査事業に取り組み地図混乱解消することで農地流動化を促進
- 有害鳥獣の対策や駆除の実施、クマ出没時の緊急対応
- スマート農業を含む機械及び施設の導入支援

方針3 農業・農村の多面的機能の維持・発揮

- 日本型直接支払制度を活用した地域主体による持続的な営農活動等の推進
- ため池耐震化対策の調査・計画の推進

方針4 豊かな森林環境の維持・保全と森林資源の多様な活用

- 事業者や地域と連携した森林病虫害の防除対策と樹種転換の推進
- 持続可能な森林活用の推進に向けた拠点整備と林業人材の育成の推進

主要一般事業

| | |
|---------------|-------|
| 農業総務事務費 | 農政課 |
| 畜産振興事業 | 農政課 |
| 農産物流通促進事業 | 農政課 |
| 減温水対策施設維持管理事業 | 耕地林務課 |
| 農村公園管理諸経費 | 耕地林務課 |
| 林業総務事務諸経費 | 耕地林務課 |
| 農業委員等活動費 | 農業委員会 |
| 農業者年金事務諸経費 | 農業委員会 |
| 農業委員会事務局諸経費 | 農業委員会 |
| 農地中間管理事業事務諸経費 | 農業委員会 |

- 木質バイオマスエネルギーや木材の利活用の促進